安全パトロール

航路測量設計外業務
（独立行政法人水資源機構　琵琶湖総合管理所）

弊社では現場作業時の安全対策を強化するため、現場担当の女性社員による安全パトロールを実施しております。
日ごろ現場経験の少ない第三者目線で点検することで、見落としがちな危険箇所の改善を目的としております。
今回は、琵琶湖周辺にて安全パトロールを実施してまいりました。

安全パトロール実施状況

作業前ミーティング

各現場を確認

パトロール結果報告

作業当日の気象情報や災害発生時の避難場所や作業時の注意点について情報共有を行う為、安全掲示板を活用し作業前ミーティングを行った。

担当者に作業内容の確認を行い、事前に把握した危険箇所や注意点を聞き取りし、安全に作業が行われているか、第三者目線で確認を行った。

パトロール結果について担当者全員で意見を出し合い、次回の測量作業時における課題について安全対策案の検討を行った。

安全対策実施状況

①安全対策マップの整理・作業箇所注意点を抽出

安全対策マップ

作業箇所注意点

- 琵琶湖では、地形の影響等による地域特有の強い風が吹く為、作業船使用時に注意が必要である
- 船上での作業は日陰がなく、水面からの紫外線反射があり温度が上がりやすい為、熱中症に注意が必要である

現地踏査で確認した内容を安全対策マップとして整理し、航路・スロープの有無等の現地状況把握、注意点の抽出を行った。抽出した現場周辺の注意点を作業担当者へ周知し、測量作業時における安全対策の検討を行った。

②安全対策の検討・安全対策実施結果

①厳しい自然条件への対応（気象状況対策）

作業中止基準を変更

湖面状況を都度確認

作業船使用時の作業中止基準を変更

作業船使用時の作業中止基準を風速5m/sとしているが、履行対象箇所では地形の影響等による地域特有の風が発生しやすく、風の影響を受けやすいことから、短時間で風向き・風速が変化し、波の高さが急変することがある。
このような自然条件では風速5m/sであっても作業船の転覆や作業担当者の落水等の危険性が高まる為、作業中止基準を風速5m/sから風速3m/sへ変更することとした。
作業中止基準を3m/sにすることで、地域特有の風による影響を早めに回避することができ、作業船の安全性および作業担当者の安全を確保した。

②厳しい自然条件への対応（熱中症対策）

飲み物・塩分タブレットを配布

黒球式熱中症指数系

熱中症対策

- 業務に熱中症対策アドバイザーが随行し、熱中症指数を計測して休憩確保や水分補給の声掛けを行った。また、今後の取組み内容について主任技術者・担当技術者へ伝達を行った。
- 通常平地では、熱中症指数計のWBGT（暑さ指数）は28度を基準として声掛けを行っているが、作業船使用時は日陰がなく水面からの紫外線反射があり温度が上がる為、WBGT26度を基準として声掛けを行った。

WBGT（暑さ指数）とは…人間の熱バランスに影響の大きい気温・湿度・輻射熱・風速を取り入れた温度の指標のことをいいます。

琵琶湖周辺の地域特有の自然環境を踏まえ、熱中症対策や急な気象変化への備えを行うことで、作業担当者が安心して作業できる環境づくりができておりました。
今後も、現場状況に応じて「安全・安心」な作業環境の維持に努めてまいります。